

秩序あるニーム関連産業の発展をめざします

ニームとは

ニームはインド、バングラディシュ等が原産の樹木で、和名をインドセンダンといいます。インドでは別名「村の薬局」と呼ばれ、約4000年前から民間薬として利用されています。インドの民間伝承医療であるアーユルヴェーダでは、数ある素材の中でも代表的な一つとされています。

永年の利用経験をもとに、ニームの種や実、葉、花など樹の各部位が、食品・医薬品等や農園芸用資材、肥料、化粧品・石けん、シャンプー、歯磨き粉などの日用品、薪、建材、家具材、お茶、ペット用品等々多くの用途に加工されています。

また、乾燥に強くインドやアフリカ等では緑化樹として植林されるほか、強烈な直射日光が強い地域では街路樹や庇陰樹としても利用されています。

さらに、適地では成長が早く部位の加工により比較的短期間に換金化しやすいほか、途上国等では植林に関する作業が地元農民の雇用を創り出し、貧困対策や自立支援につながることから、国連機関も大変注目している樹木です。



近年、日本でニームの認知が広がりつつあり様々な商品が見られるようになりました。消費者にニームが身近になる一方で、一部では粗悪な商品が販売されたり不十分な説明などにより、消費者が不利益を被っている現状もあります。こうした事態への対処には、ニームに関係する産官学が連携し健全なニーム関連の市場創出が必要と考えます。

このため本コンソーシアムは、消費者に正確なニーム情報を発信・提供し普及啓蒙に努めることを前提とし、ニーム関連商品・サービスを提供する企業等が事業活動を行いやすい環境を創出することを目的としています。

他にもニームの新しい活用方法の研究や提言、試験研究の共同実施、粗悪品排除のための基準策定等を行うとともに、関連商品等を元にした基金を創設し、途上国等への支援とする植林活動も行いたいと考えております。

コンソーシアムの目的

1. ニームの普及啓蒙・認知拡大
2. 良質なニーム関連商品の流通
3. 新たな活用方法のための研究開発支援および助言
4. ニームに関するあらゆる情報の収集および調査、発信
5. 国内外の関係機関との交流
6. その他、目的達成に必要な諸活動

コンソーシアムの事業

1. ニーム普及啓蒙事業
2. 流通環境整備事業
3. 情報発信事業
4. 調査事業
5. その他